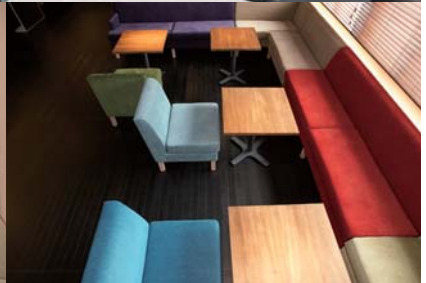


# chapter.1

## 「オフィス」 のリアル

これらは実際の仕事場です。  
今、オフィスはこう変わっています。  
オフィス探検ツアーに出かけましょう！

取材・文／荒尾貴正(本誌編集デスク)  
協力／Webサイト「みんなの仕事場」



アイデア  
が浮かぶ  
会議室

壁にイラストを描いたり、明るい配色にしたり、卓球台をミーティングテーブルと兼用するなど、ユニークな会議室が増えている。右上から時計回りに、株式会社ECナビ、フィールズ株式会社、株式会社イデアインターナショナル、フォートラベル株式会社、株式会社レコチョク、株式会社はてな、株式会社スタートトゥデイ、株式会社サイバーエージェント

### オフィスには 会社のカラーが出る

かつて「仕事場」は、会社も役所も学校の職員室もあまり違いがなかった。しかし、最近の会社のオフィスは明るく、開放的で、センスの良いところが増えた。その背景を事情通は次のように解説する。

「若い経営者の方が増えてきたことが大きいと思います。30代くらいの経営者の方は、オフィスに対する考え方も新しいですね(アスクル株式会社 みんなの仕事場事業推進 宮本英治部長) コミュニケーションがとりやすいデスクの配置、議論が活発になる会議室、頭を切り替えるリフレッシュスペース…費用をどれほどかけるかには関係なく、さまざまに趣向を凝らした設備は社員が快適に働けるためであり、そうすることで会社の業績も上がるだろうと、若く頭の柔らかな経営者たちは考えているようだ。

オフィスには会社のカラーが出る。その会社は何を大切にしている会社なのか、その業界がどんな雰囲気の世界なのかはオフィスからも伝わってくる。自分なりの視点をもってインターンシップや会社見学に行けば、さまざまな発見ができるだろう。



仕事はかどる  
**デスク**



隣の人のコミュニケーションのしやすさと同時に、仕事に集中できるかどうかにも配慮して距離感や位置関係が考案されている。デスク周りにグリーンを配置する企業も多い。右上から時計回りに、株式会社カヤック、フォートラベル株式会社、アスマル株式会社、株式会社スタートトゥデイ、株式会社イデアインターナショナル

### 「みんなの仕事場」でオフィスを見学しよう!



大学生が就活前に企業を知るためのツールとして今注目されているのが「みんなの仕事場」というサイト。トータル・オフィス・サポート企業のアスクルが運営している。会社でオフィス作りを担当する人たちや経営者に向けてオフィスの具体例を見せたり、空間デザイン会社情報を提供するのが本来の目的だが、情報量の多さと、独自の企画が若者の人気を集めている。現在、掲載企業195社、掲載写真約3500枚。「独創的なミーティングスペース」「遊び場のあるオフィス」といったさまざまな切り口からオフィスを見ることができ、また、仕事がデキル人たちを紹介する「デキル人」、若手経営者の考え方がわかる「経営者のオフィス戦略」など、会社にまつわる企画が満載だ。(http://shigotoba.askul.co.jp/)



リフレッシュする  
**休憩室**



ビリヤード台やダーツといった遊具、カフェのようなリフレッシュスペース、社員バーなど休憩室も多彩。右上から時計回りに、株式会社サイバーエージェント、株式会社リアルワールド、株式会社ECナビ